

平成 19 年 12 月 18 日
内閣府国民生活局企画課

平成 19 年度国民生活モニター調査結果（概要） （環境に配慮した日常生活に関する国民の意識・行動調査）

1. 調査目的

循環型社会の形成や地球温暖化防止を促進する観点から、

①地球環境問題や省資源・省エネルギーに対する意識と取組の状況

②「環境にやさしい買い物」に対する意識と取組の状況 等

国民の意識・行動の実態を調査し、その結果を今後の施策展開の基礎資料として活用するため、国民生活モニターへのアンケート調査を実施した。

なお、平成 17 年 11 月及び平成 18 年 11 月にも同様の調査を行っており、これらの調査結果との比較も行った。

2. 調査期間

平成19年11月 6 日(火) ～ 平成18年11月 19 日(月)

3. 調査対象者

全国の国民生活モニター : 2,000 人

〔 有効回答者数 : 1,873 人
回収率 : 93.7% 〕

(参考)

国民生活モニター制度とは、国民生活施策を効果的に実施するため、消費者の購買態度や意識の把握、国民生活行政に対する意見の把握、いろいろな商品等の価格や各種サービス料金の実態の把握、政府等からの正確な情報の提供等のために、昭和 48 年から実施されているものである(「国民生活モニター」の名称は平成 13 年から)。また、モニターは全国に約 2,000 名おり、任期は 4 月から翌年の 3 月までの 1 年間、調査報告や意見を提出することとなっている。

【調査結果の概要】

1. 地球温暖化防止のため、日常生活における取組についてどのように考えているか(4頁 問1)

- 積極的に取り組む …………… 26.1%
- できる部分があれば取り組む …………… 72.3%
- 合計 98.4%

【前回調査(H17年、H18年)との比較】

- 「積極的に取り組む」と「できる部分があれば取り組む」の割合の合計が上昇。
(96.5%→97.2%→98.4%)

2. 実際に行っている省エネ行動(複数回答 5～6頁 問2)

- 不必要な電灯や冷暖房器具はこまめに消す …………… 92.7%
- 部屋の冷暖房を控えめにする …………… 88.8%
- シャワーのお湯を流しっぱなしにしない …………… 77.6%

【前回調査(H17年、H18年)との比較】

- 「不必要な電灯や冷暖房器具はこまめに消す」、「部屋の冷暖房を控えめにする」等の割合が上昇している一方で、「冷暖房器具の置き場所を適正にする」、「湯沸器や風呂などの口火をつけたままにしない」等の割合は低下。

3. 日常の買い物の際に、ごみ・資源・エネルギーなど環境のことを考えているか(8頁 問4)

- いつも考えている …………… 24.8%
- だいたい考えている …………… 64.3%
- 合計 89.1%

【前回調査(H17年、H18年)との比較】

- 「いつも考えている」と「だいたい考えている」の割合の合計が上昇。
(79.7%→85.9%→89.1%)

4. 日常の買い物の際に実践している環境配慮行動(複数回答 9～10頁 問5)

- シャンプーや洗剤などは、詰め替え用の商品を選ぶ …………… 88.5%
- 必要なものを必要な量だけ買う …………… 69.7%
- 家電製品などは、省資源・省エネ型のものを選ぶ …………… 63.9%

【前回調査(H17年、H18年)との比較】

- 「レジ袋は断り、買い物袋(マイバッグ)を使う」等の割合が上昇している一方で、「エコマークなどの環境ラベル(マーク)がついていたものを選ぶ」等の割合は低下。

5. 日常の買い物の際に、環境配慮行動の妨げになっていること(複数回答 11～12 頁 問6)
- レジ袋は自宅等でゴミ袋等として再使用している 61.3%
 - 簡易包装、はかり売り、ばら売りが少ない 59.4%
 - 環境に配慮した商品は価格が高い 49.0%

【前回調査(H17年、H18年)との比較】

- 全体的に低下傾向となっている。

6. 「グリーンコンシューマー」という言葉の意味を知っているか(14 頁 問8)

- 聞いたことがあり、言葉の意味を詳しく知っている 8.6%
- 聞いたことがあり、言葉の意味をある程度知っている 21.0%
- 合計 29.6%
- 聞いたことがない 45.5%

7. グリーンコンシューマー活動に対して、どのような取組を期待するか。

(複数回答 15～16 頁問9)

- 消費者一人ひとりが実践できることを普及・定着させる 78.8%
- 環境に配慮した商品进行评估して、消費者にわかりやすく伝える 72.1%

8. 国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」を知っているか(17頁 問10)

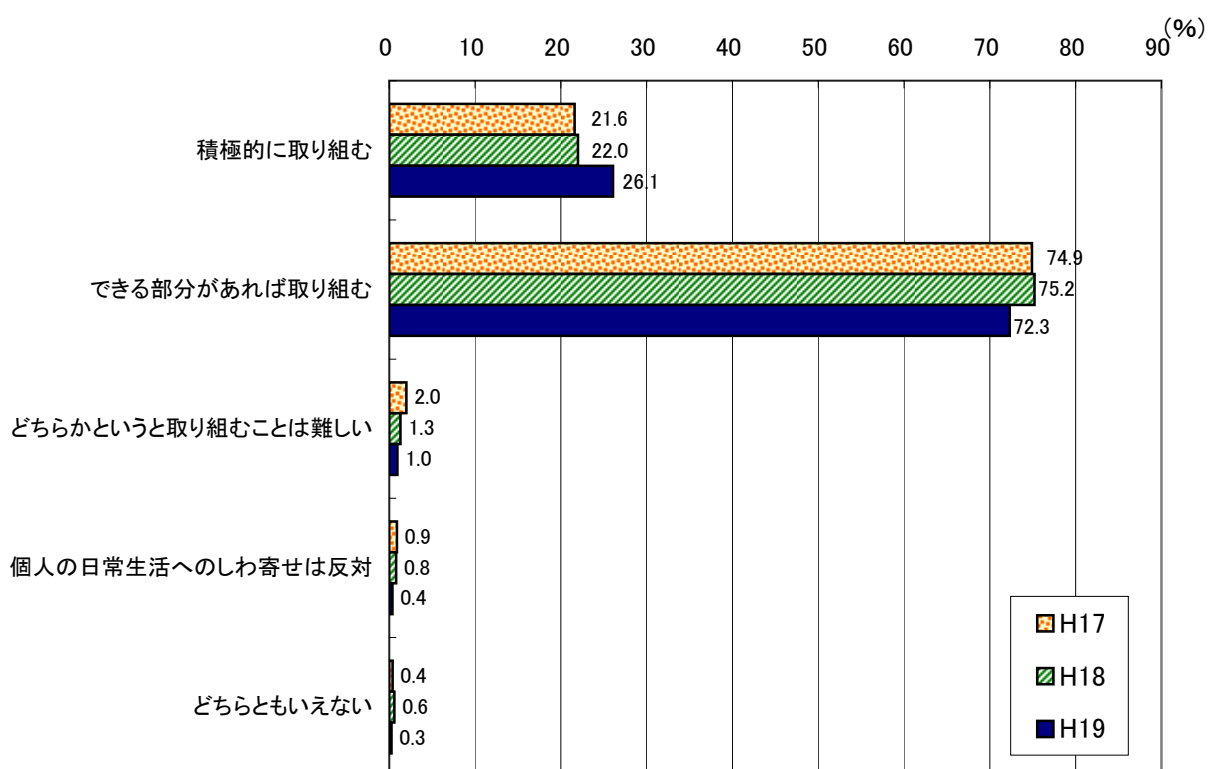
- 聞いたことはあるが、取組の内容までは知らない 40.3%
- 「チーム・マイナス6%」に参加していないが、取組の内容は知っている 31.9%

9. 「チーム・マイナス6%」が提案する6つのアクションを知っているか(18 頁 問11)

- 6つのアクションのことは知らないが、実行している項目がある 66.1%
- 6つのアクションのことを知っていて、実行している項目がある 31.1%

問1 あなたは、地球温暖化防止のため、日常生活における取組について、どのようにお考えになりますか。あなたのお考えに最も近いものを次の中から1つだけ○をつけてお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 積極的に取り組む |
| 2 | できる部分があれば取り組む |
| 3 | どちらかというに取り組むことは難しい |
| 4 | 個人の日常生活へのしわ寄せは反対 |
| 5 | どちらともいえない |



※割合は四捨五入しているため、合計が100%と合わない場合がある。(以下、問10まで同じ)

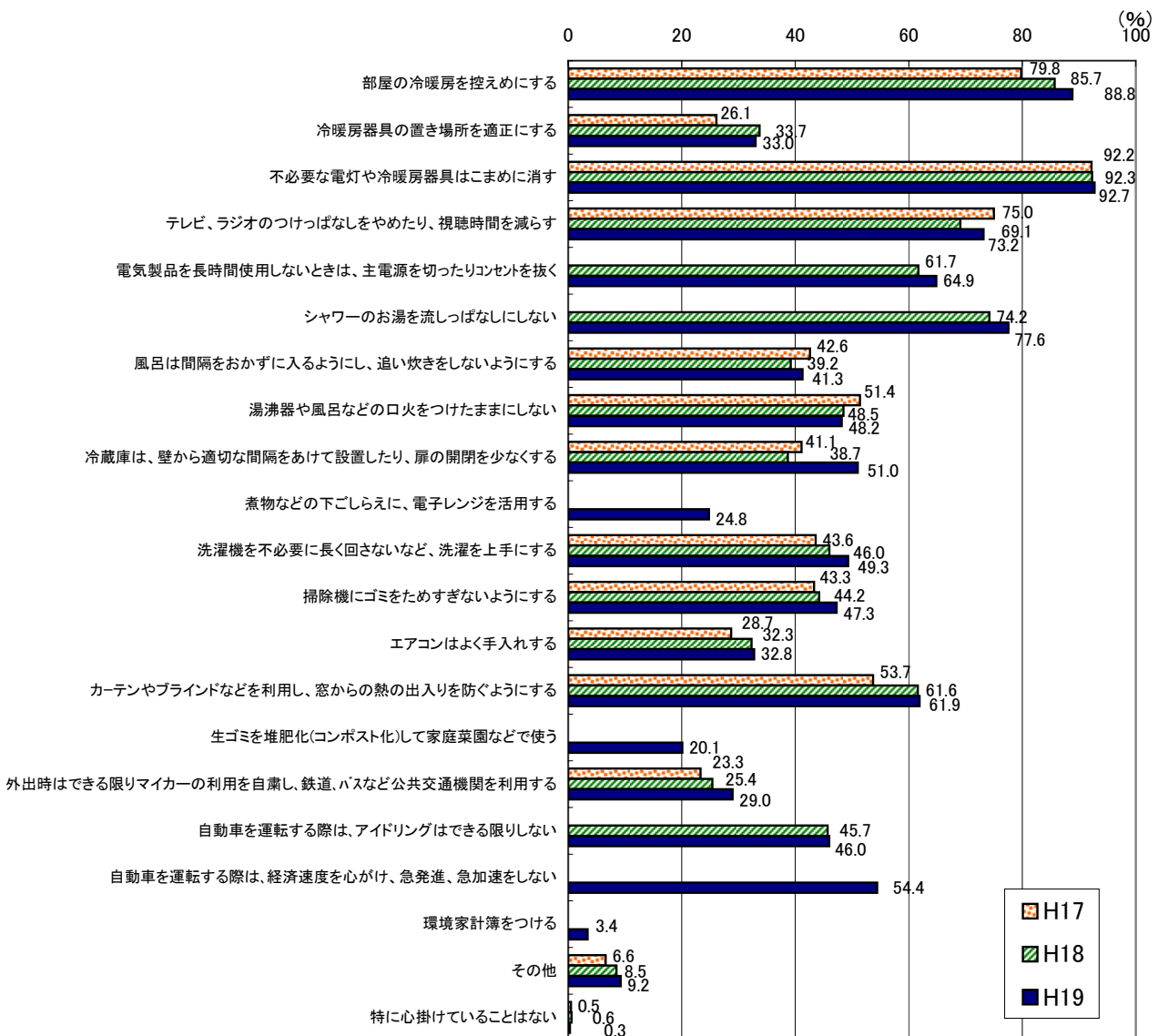
地球温暖化防止のため、個人の日常生活における取組について、「取り組む」とする者の割合が98.4%（「積極的に取り組む」26.1%＋「できる部分があれば取り組む」72.3%）となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「取り組む」とする者の割合がわずかに上昇している（96.5%→97.2%→98.4%）。

問2 あなたは、日常生活の中で、エネルギーを節約するために、何か実際に行っていることがありますか。次の中からいくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 部屋の冷暖房を控えめにする
- 2 冷暖房器具の置き場所を適正にする
- 3 不必要な電灯や冷暖房器具はこまめに消す
- 4 テレビ、ラジオのつけっぱなしをやめたり、視聴時間を減らす
- 5 電気製品を長時間使用しないときは、主電源を切ったりコンセントを抜く
- 6 シャワーのお湯を流しっぱなしにしない
- 7 風呂は間隔をおかずに入るようにし、追い炊きをしないようにする
- 8 湯沸器や風呂などの口火をつけたままにしない
- 9 冷蔵庫は、壁から適切な間隔をあけて設置したり、扉の開閉を少なくする
- 10* 煮物などの下ごしらえに、電子レンジを活用する
- 11 洗濯機を不必要に長く回さないなど、洗濯を上手にする
- 12 掃除機にゴミをためすぎないようにする
- 13 エアコンはよく手入れする
- 14 カーテンやブラインドなどを利用し、窓からの熱の出入りを防ぐようにする
- 15* 生ゴミを堆肥化(コンポスト化)して家庭菜園などで使う
- 16 外出時はできる限りマイカーの利用を自粛し、鉄道、バスなどの公共交通機関を利用する
- 17 自動車を運転する際は、アイドリングはできる限りしない
- 18* 自動車を運転する際は、経済速度を心がけ、急発進、急加速をしない
- 19* 環境家計簿をつける
- 20 その他 ()
- 21 特に心掛けていることはない

*印は新規調査事項を示す



日常生活の中で、エネルギーを節約するために実際に行っていることとして、「不必要な電灯や冷暖房器具はこまめに消す」と答えた者の割合が92.7%と最も高く、以下、「部屋の冷暖房を控えめにする」(88.8%)、「シャワーのお湯を流しっぱなしにしない」(77.6%)などの順となっている。反対に「環境家計簿をつける」と答えた者の割合が3.4%と最も低く、以下、「生ゴミを堆肥化(コンポスト化)して家庭菜園などで使う」(20.1%)、「煮物などの下ごしらえに、電子レンジを活用する」(24.8%)などの順となっている。

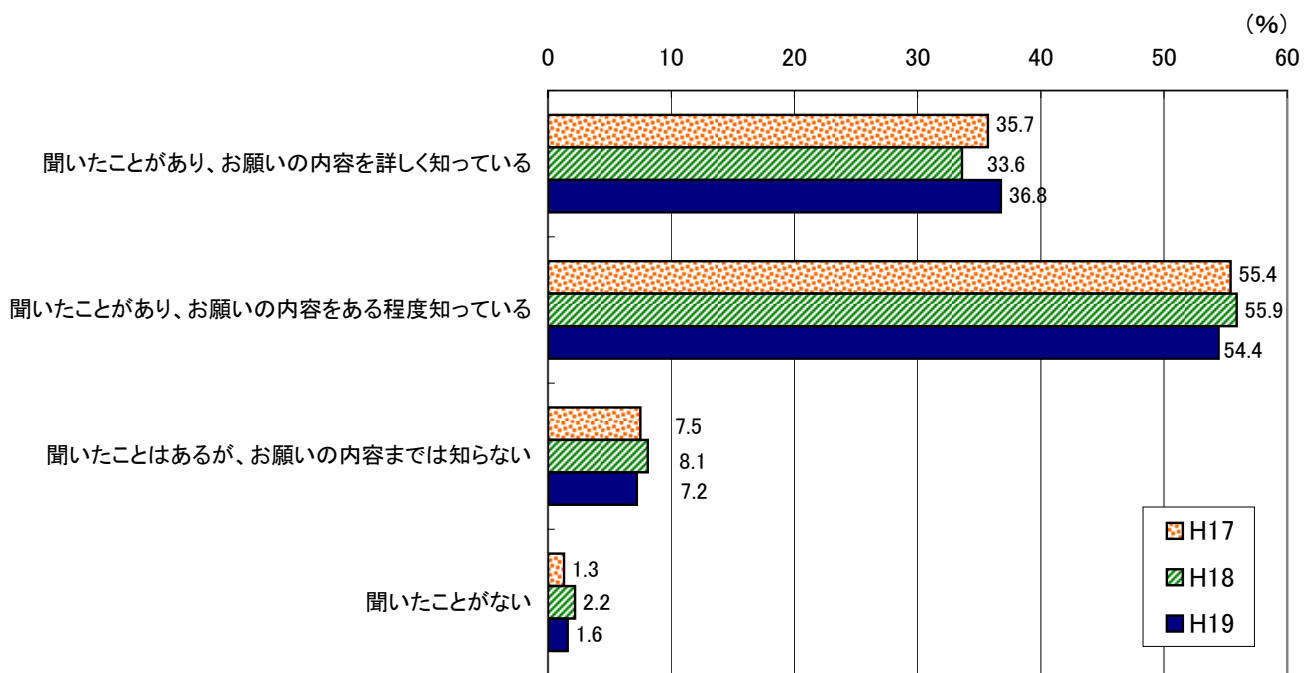
前回の調査結果と比較してみると、「部屋の冷暖房を控えめにする」、「テレビ、ラジオのつけっぱなしをやめたり、視聴時間を減らす」、「電気製品を長時間使用しないときは、主電源を切ったりコンセントを抜く」、「シャワーのお湯を流しっぱなしにしない」、「風呂は間隔をおかずに入るようにし、追い焚きをしないようにする」、「冷蔵庫は壁から適切な間隔をあけて設置したり、扉の開閉を少なくする」、「洗濯機を不必要に長く回さないなど、洗濯を上手にする」、「掃除機にゴミをためすぎないようにする」、「外出時はできる限りマイカーの利用を自粛し、鉄道、バスなど公共交通機関を利用する」と答えた者の割合が上昇し、「冷暖房器具の置き場所を適正にする」、「湯沸器や風呂などの口火をつけたままにしない」と答えた者の割合がやや低下している。

【その他の自由回答(主なもの)】

- マイバッグを持参、買い物でレジ袋をもらわない
- 必要な物以外の買い物は控える
- 近所の買物や用事は出来るだけ、自転車を利用している又は徒歩
- 自家用車を持たない
- お風呂の残り湯を洗濯や拭き掃除、トイレ等に、花壇の水やりは、雨水などを使用
- ごみの分別、リサイクルに協力する
- チラシ等の裏面をメモ用紙として利用している
- 太陽光発電を利用している
- 家電製品は省エネタイプのものを買う
- 衣類で調整、冷暖房はなるべく使用しない
- 圧力鍋など調理器具を使い、熱効率をよくする
- 家族が1つの部屋で同じことをする
- 家計簿をつけて使いすぎなどがないかチェックする
- 家族に協力を求める

問3 政府では、毎年、夏季と冬季の省エネルギー対策を決定し、各家庭などで省エネルギーに協力していただけるよう、ポスターやテレビなどを通じて、「冷房は室温28℃を目安に温度設定をしましょう」、「暖房は室温20℃を目安に温度設定しましょう」などのお願いをしています。あなたはこのことについて、どの程度ご存じですか。次の中から1つだけ○をつけてお答えください。（○は1つだけ）

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 聞いたことがあります、お願いの内容を詳しく知っている |
| 2 | 聞いたことがあります、お願いの内容をある程度知っている |
| 3 | 聞いたことはあるが、お願いの内容までは知らない |
| 4 | 聞いたことがない |

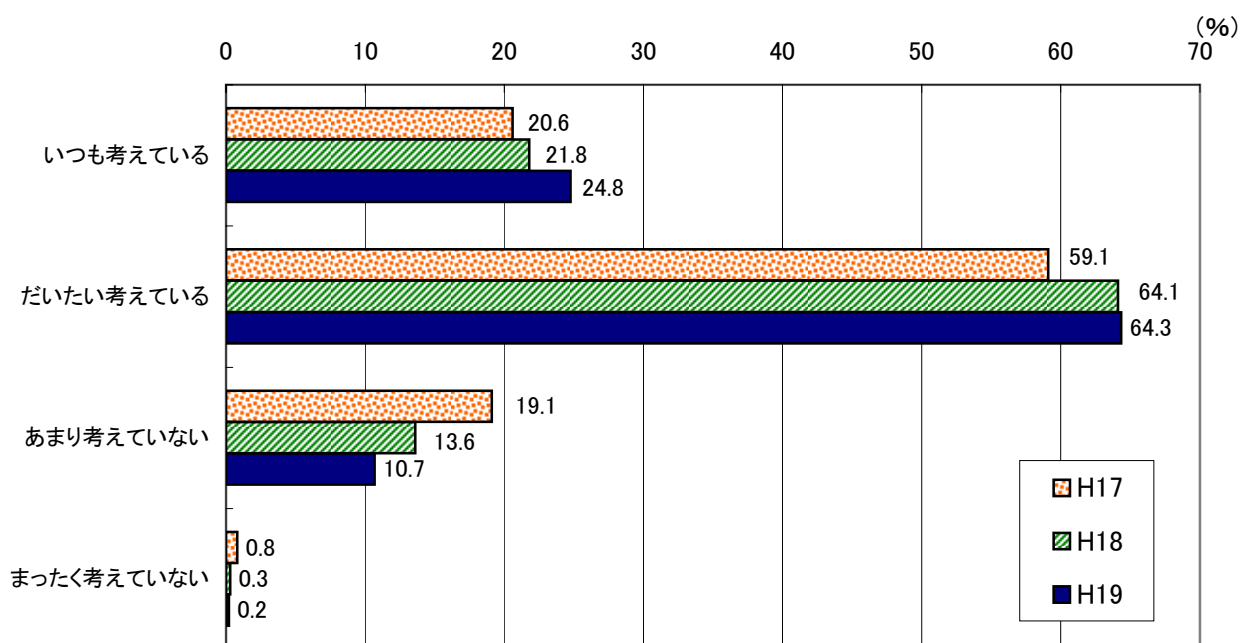


夏季や冬季の省エネルギーに関する政府の広報について、「お願いの内容を知っている」とする者の割合が91.2%（「聞いたことがあります、お願いの内容を詳しく知っている」36.8%＋「聞いたことがあります、お願いの内容をある程度知っている」54.4%）となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「お願いの内容を知っている」とする者の割合が、平成18年調査ではわずかに低下したものの、今回調査ではわずかに上昇している（91.1%→89.5%→91.2%）。

問4 あなたは、日常の買い物の際、ごみ・資源・エネルギーなど環境のことを考えていますか。次の中から1つだけ○をつけてお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|---|------------|
| 1 | いつも考えている |
| 2 | だいたい考えている |
| 3 | あまり考えていない |
| 4 | まったく考えていない |

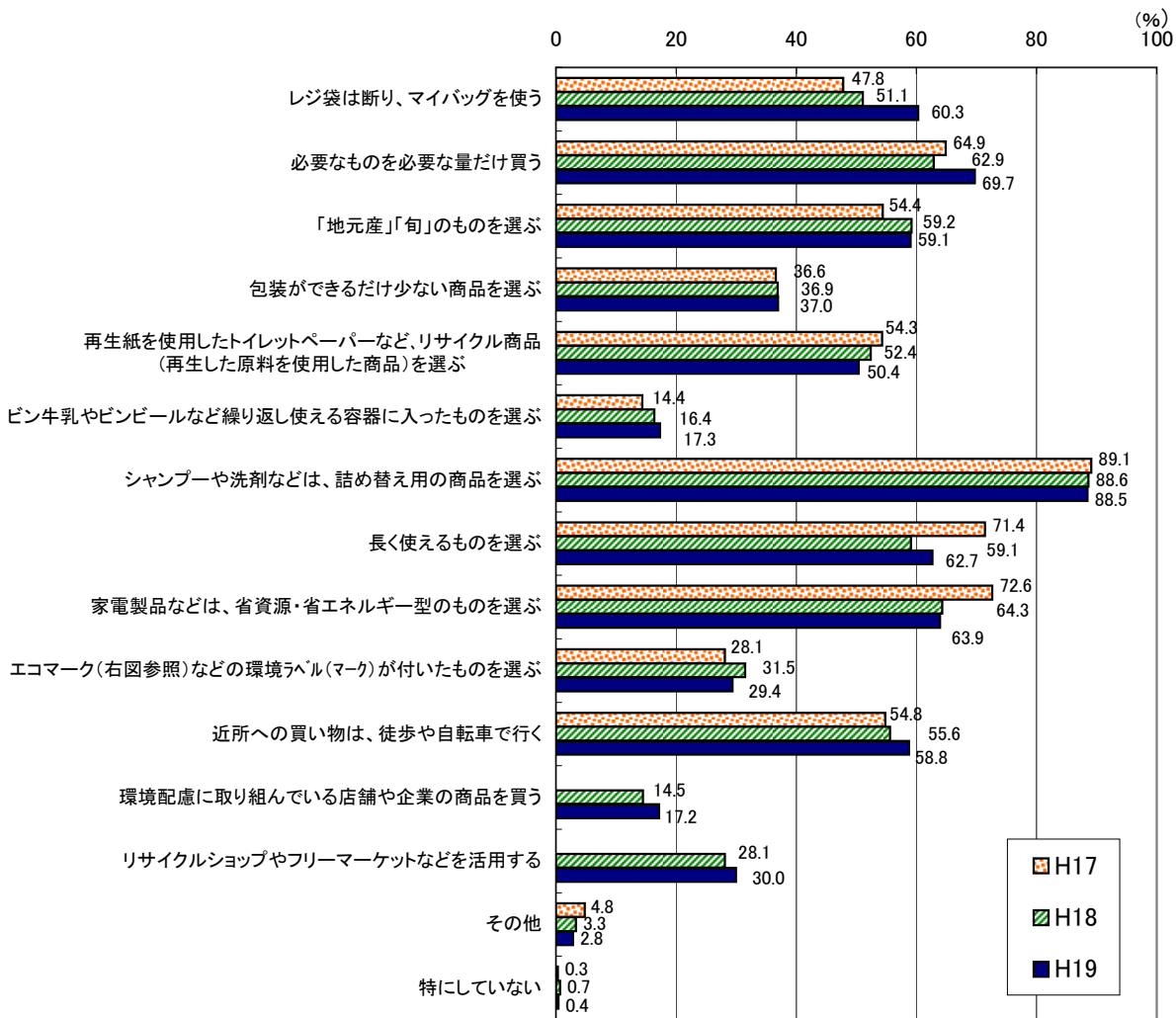


商品を購入する際に、ごみ・資源・エネルギーなど環境のことを「考えている」とする者の割合が89.1%（「いつも考えている」24.8%＋「だいたい考えている」64.3%）、「考えていない」とする者の割合が10.9%（「あまり考えていない」10.7%＋「まったく考えていない」0.2%）となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「考えている」とする者の割合の上昇が続いている（79.7%→85.9%→89.1%）一方で、「考えていない」とする者の割合の低下が続いている（19.9%→13.9%→10.9%）。

問5 あなたは、日常の買い物の際、環境に配慮して実践していることがありますか。次の中からいくつでも○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 レジ袋は断り、マイバッグを使う
- 2 必要なものを必要な量だけ買う
- 3 「地元産」「旬」のものを選ぶ
- 4 包装ができるだけ少ない商品を選ぶ
- 5 再生紙を使用したトイレトペーパーなど、リサイクル商品（再生した原料を使用した商品）を選ぶ
- 6 ビン牛乳やビンビールなど繰り返し使える容器に入ったものを選ぶ
- 7 シャンプーや洗剤などは、詰め替え用の商品を選ぶ
- 8 長く使えるものを選ぶ
- 9 家電製品などは、省資源・省エネルギー型のものを選ぶ
- 10 エコマーク（右図参照）などの環境ラベル（マーク）が付いたものを選ぶ
- 11 近所への買い物は、徒歩や自転車で行く
- 12 環境配慮に取り組んでいる店舗や企業の商品を買う
- 13 リサイクルショップやフリーマーケットなどを活用する
- 14 その他（ ）
- 15 特にしていない



日常の買い物の際、環境に配慮して実践していることとして、「シャンプーや洗剤などは、詰め替え用の商品を選ぶ」と答えた者の割合が88.5%と最も高く、以下、「必要なものを必要な量だけ買う」(69.7%)、「家電製品などは、省資源・省エネルギー型のものを選ぶ」(63.9%)などの順となっており、反対に「環境配慮に取り組んでいる店舗や企業の商品を買う」と答えた者の割合が17.2%と最も低く、以下、「ビン牛乳やビンビールなど繰り返し使える容器に入ったものを選ぶ」(17.3%)、「エコマークなどの環境ラベル(マーク)が付いたものを選ぶ」(29.4%)、「リサイクルショップやフリーマーケットなどを活用する」(30.0%)などの順となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「レジ袋は断り、マイバッグを使う」、「必要なものを必要な量だけ買う」、「近所への買い物は、徒歩や自転車で行く」、「環境配慮に取り組んでいる店舗や企業の商品を買う」、「リサイクルショップやフリーマーケットなどを活用する」と答えた者の割合が上昇している。

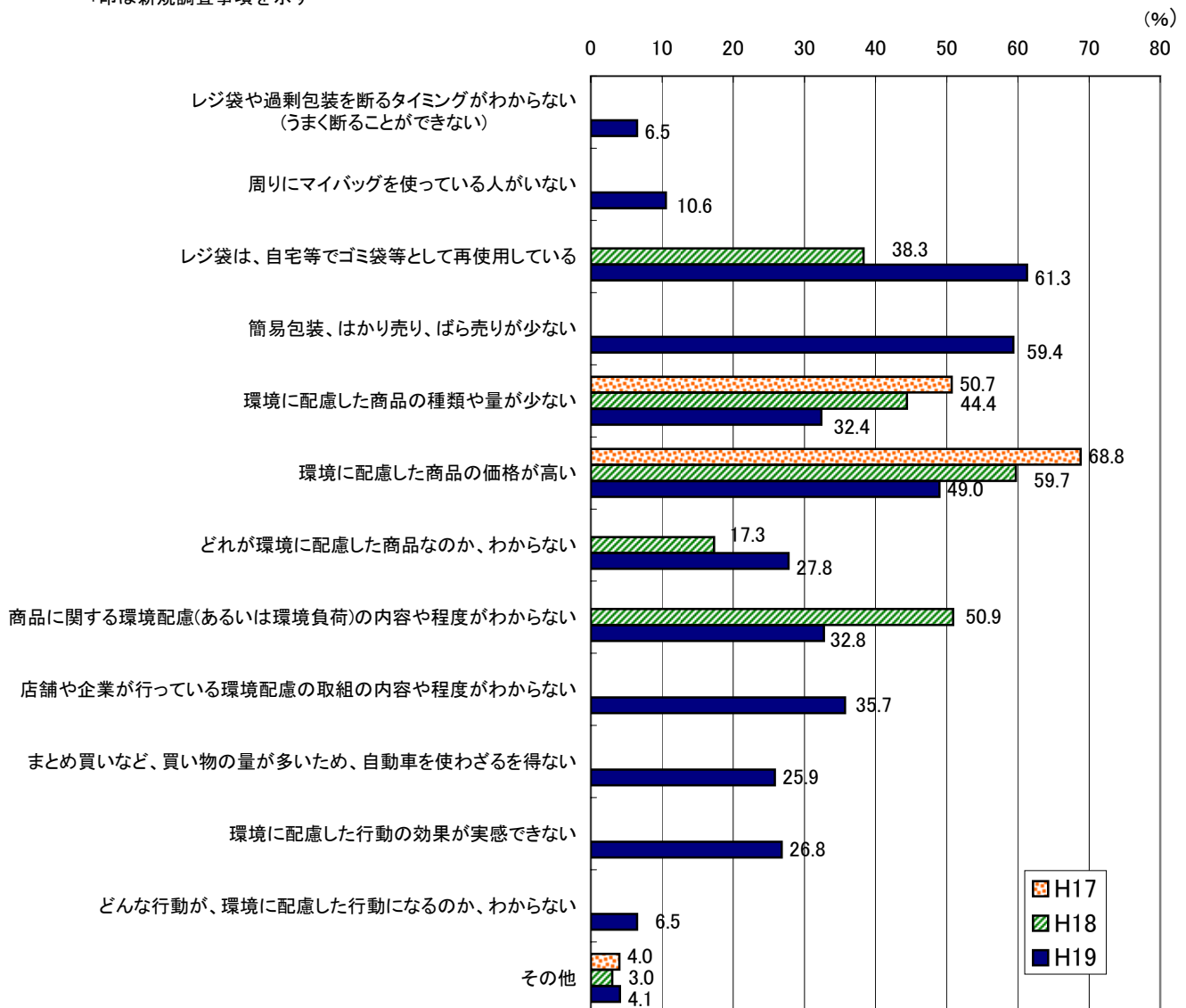
【その他の自由回答(主なもの)】

- 飲み終わったペットボトルを再利用する(シャンプー、洗剤入れなど)
- 牛乳パック、食品トレーの回収に協力する
- 化粧品等も詰め替えできるものを選ぶ
- 洗剤やシャンプーなどは環境に良いものを買う
- マイ箸を持ち歩き、割り箸を断るようにしている
- できるだけ自給自足して、あまり買い物しない
- 包装を断る
- フリーマーケットに参加する
- ネットオークションを利用する
- 修理をして使用する

問6 あなたが日常の買い物をする際、環境に配慮した行動をとりにくい、あるいは、環境に配慮した行動の妨げとなっていることはありますか。次の中からいくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1* レジ袋や過剰包装を断るタイミングがわからない(うまく断ることができない)
- 2* 周りにマイバッグを使っている人がいない
- 3 レジ袋は、自宅等でゴミ袋等として再使用している
- 4* 簡易包装、はかり売り、ばら売りが少ない
- 5 環境に配慮した商品の種類や量が少ない
- 6 環境に配慮した商品の価格が高い
- 7 どれが環境に配慮した商品なのか、わからない
- 8 商品に関する環境配慮(あるいは環境負荷)の内容や程度がわからない
- 9* 店舗や企業が行っている環境配慮の取組の内容や程度がわからない
- 10* まとめ買いなど、買い物の量が多いため、自動車を使わざるを得ない
- 11* 環境に配慮した行動の効果が実感できない
- 12* どんな行動が、環境に配慮した行動になるのか、わからない
- 13 その他 ()

*印は新規調査事項を示す



日常の買い物の際に、環境に配慮した行動をとりにくい、あるいは、環境に配慮した行動の妨げとなっていることとして、「レジ袋は、自宅等でゴミ袋等として再使用している」と答えた者の割合が61.3%と最も高く、以下、「簡易包装、はかり売り、ばら売りが少ない」(59.4%)、「環境に配慮した商品の価格が高い」(49.0%)などの順となっている。

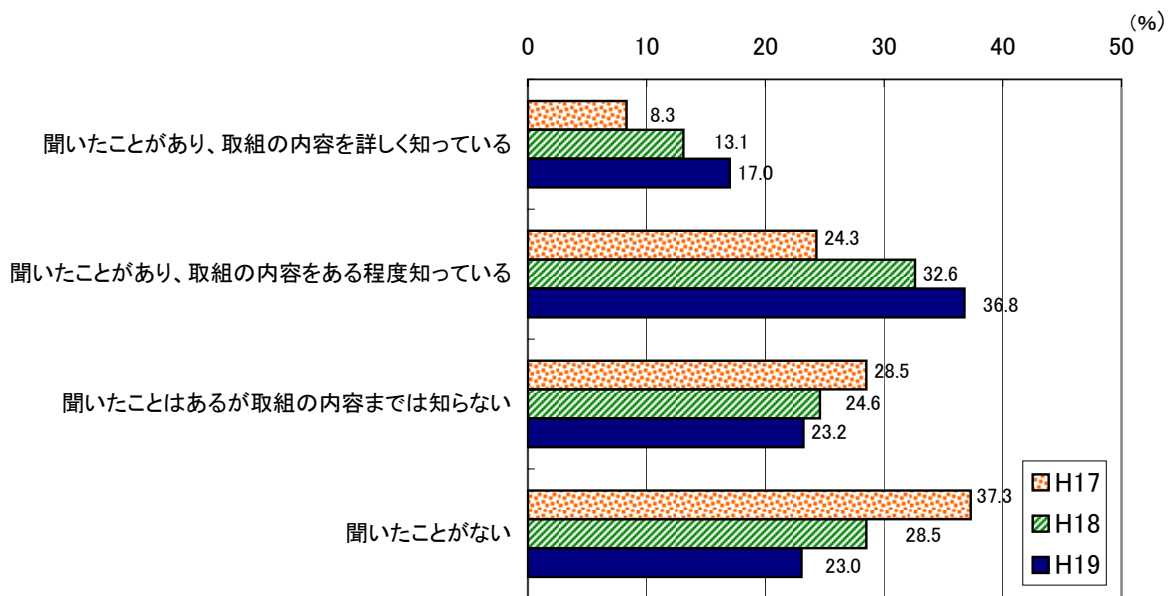
前回の調査結果と比較してみると、「環境に配慮した商品の種類や量が少ない」、「環境に配慮した商品の価格が高い」、「商品に関する環境配慮(あるいは環境負荷)の内容や程度がわからない」と答えた者の割合が低下している。

【その他の自由回答(主なもの)】

- 品質を優先し、環境配慮は後になる
- 環境配慮の洗剤等は汚れが落ちにくく、多量に使わないと落ちない
- 環境に配慮した行動と言われているものが本当に有益なのか不明
- 表示をうのみにできない商品が多い
- 企業や店舗がもっと過剰包装にならないようにすべき
- 店舗までの距離は遠いので自動車を使わざるを得ない
- 家族を含む回りの者の協力が無い
- マイバッグは万引きと間違われぬか不安

問7 あなたは、マイバッグの持参や環境に配慮した商品の購入など「環境にやさしい買い物」の実践を呼びかけるキャンペーンが、今年の10月に全国の都道府県において行われていたことをご存じですか。次の中から1つだけ○をつけてお答えください。（○は1つだけ）

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 聞いたことがあります、取組の内容を詳しく知っている |
| 2 | 聞いたことがあります、取組の内容をある程度知っている |
| 3 | 聞いたことはあるが、取組の内容までは知らない |
| 4 | 聞いたことがない |

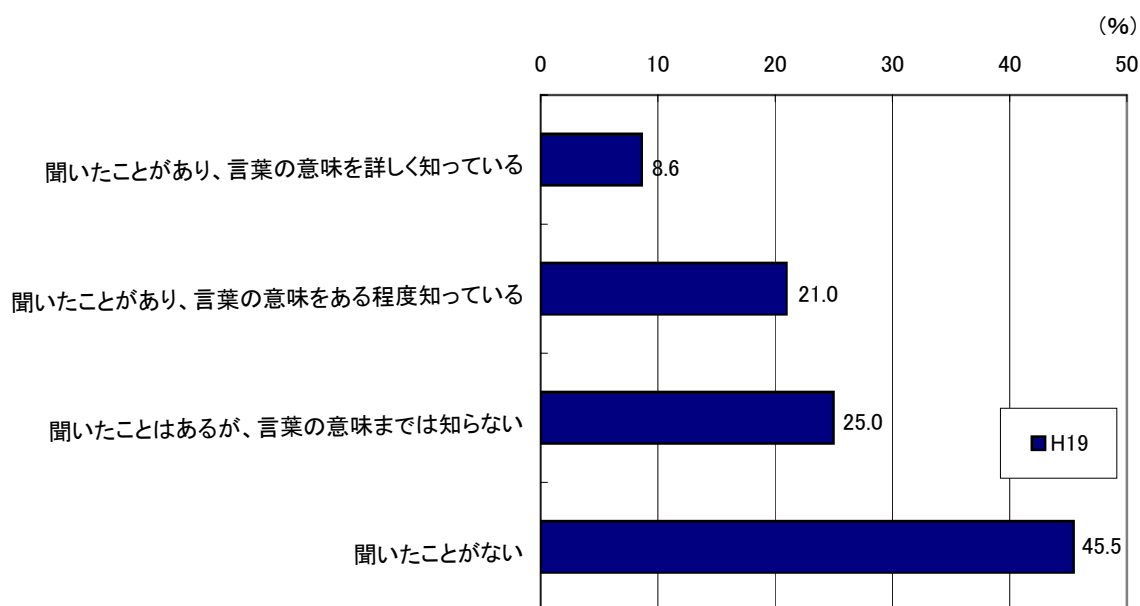


今年の10月に各都道府県下において行われた「環境にやさしい買い物」の実践を呼びかけるキャンペーンについて、「取組の内容を知っている」とする者の割合が53.8%（「聞いたことがあります、取組の内容を詳しく知っている」17.0%+「聞いたことがあります、取組の内容をある程度知っている」36.8%）となっており、「聞いたことがない」とする者の割合は23.0%となっている。

前回の調査結果と比較してみると、「取組の内容を知っている」とする者の割合が上昇している（32.6%→45.7%→53.8%）。

問8 あなたは、「グリーンコンシューマー」という言葉の意味をご存じですか。次の中から1つだけ○をつけてお答えください。（○は1つだけ）

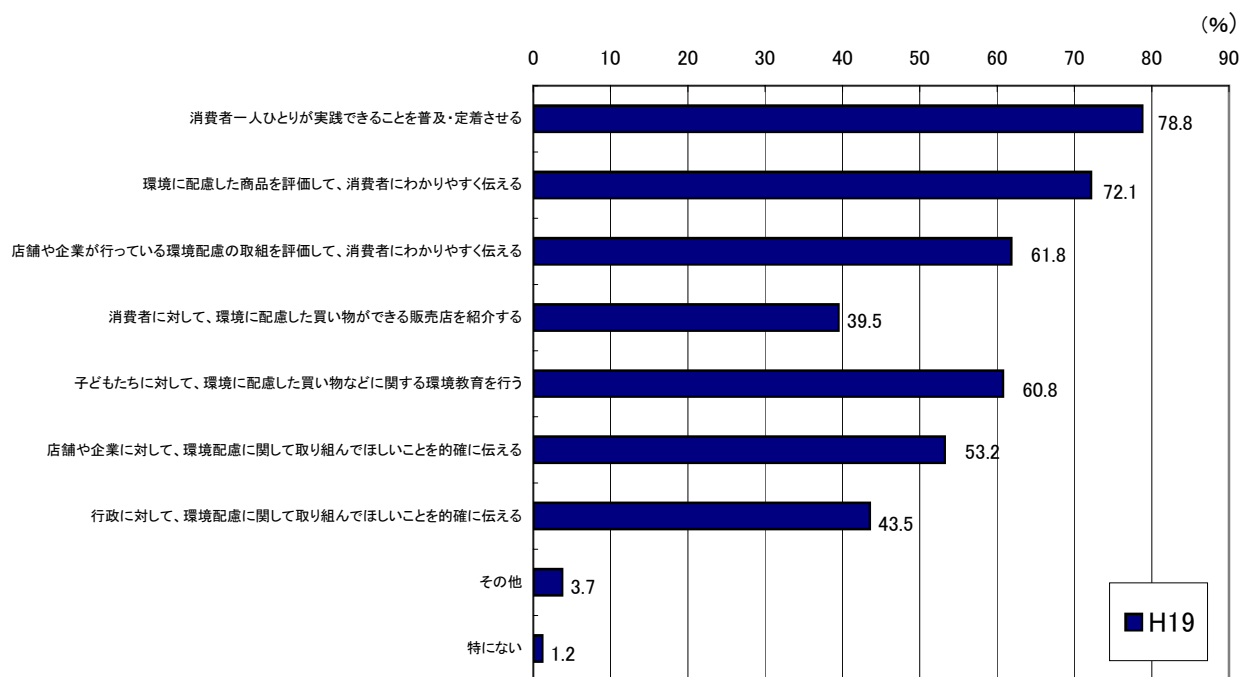
- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 聞いたことがあります、言葉の意味を詳しく知っている |
| 2 | 聞いたことがあります、言葉の意味をある程度知っている |
| 3 | 聞いたことはあるが、言葉の意味までは知らない |
| 4 | 聞いたことがない |



「グリーンコンシューマー」という「言葉の意味を知っている」とする者の割合が29.6%（「聞いたことがあります、言葉の意味を詳しく知っている」8.6%+「聞いたことがあります、言葉の意味をある程度知っている」21.0%）となっており、「言葉の意味を知らない」とする者の割合が70.5%（「聞いたことはあるが、言葉の意味までは知らない」25.0%+「聞いたことがない」45.5%）となっている。

問9 日常の買い物の際に環境負荷が少ない商品や店舗を選ぶことを通じて、企業活動や経済社会を環境に配慮した方向へ変革していこうという活動を、グリーンコンシューマー活動と言います。あなたはグリーンコンシューマー活動に対して、どのような取組を期待しますか。次の中からいくつでも○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1 | 消費者一人ひとりが実践できることを普及・定着させる |
| 2 | 環境に配慮した商品进行评估して、消費者にわかりやすく伝える |
| 3 | 店舗や企業が行っている環境配慮の取組进行评估して、消費者にわかりやすく伝える |
| 4 | 消費者に対して、環境に配慮した買い物ができる販売店を紹介する |
| 5 | 子どもたちに対して、環境に配慮した買い物などに関する環境教育を行う |
| 6 | 店舗や企業に対して、環境配慮に関して取り組んでほしいことを的確に伝える |
| 7 | 行政に対して、環境配慮に関して取り組んでほしいことを的確に伝える |
| 8 | その他 () |
| 9 | 特にない |



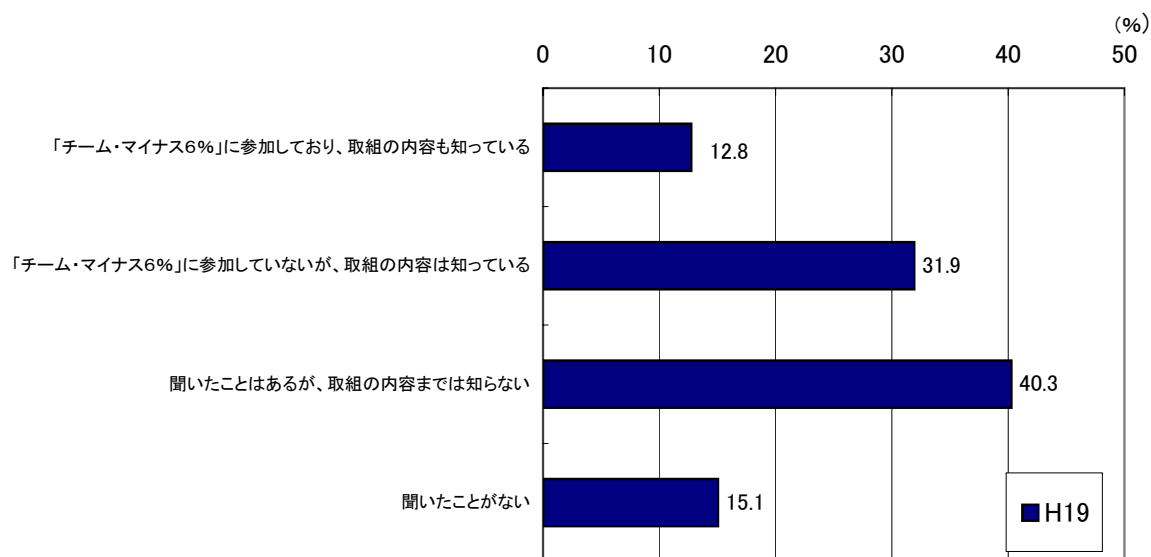
グリーンコンシューマー活動に期待する取組として、「消費者一人ひとりが実践できることを普及・定着させる」と答えた者の割合が78.8%と最も高く、以下、「環境に配慮した商品进行评估して、消費者にわかりやすく伝える」(72.1%)、「店舗や企業が行っている環境配慮の取組进行评估して、消費者にわかりやすく伝える」(61.8%)、「子どもたちに対して、環境に配慮した買い物などに関する環境教育を行う」(60.8%)などの順となっている。

【その他の自由回答(主なもの)】

- 誰にでも分かり易い形で、それぞれの成果を表してほしい
- 形だけでなく、結果の出る取組に期待したい
- 高齢者や子ども達にも分かり易い標語(言葉)で伝える
- 環境問題は、学校教育の中に取り組んでほしい
- 市民の意見を組み上げてくれる窓口があればいい
- 趣旨には期待するが、カタカナのネーミングでは何のことかわからない
- 店舗の実践に対してメリットを大きくする

問10 あなたは、京都議定書の目標(日本は温室効果ガス排出量を6%削減)を達成するための国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」を、どの程度ご存じですか。次の中から1つだけ○をつけてお答えください。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 「チーム・マイナス6%」に参加しており、取組の内容も知っている |
| 2 「チーム・マイナス6%」に参加していないが、取組の内容は知っている |
| 3 聞いたことはあるが、取組の内容までは知らない |
| 4 聞いたことがない |

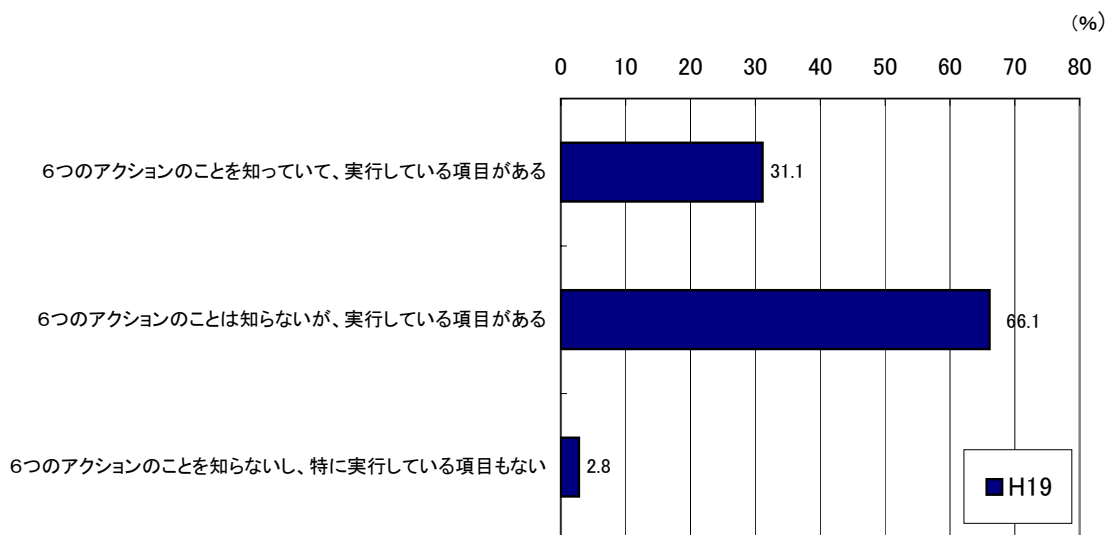


「チーム・マイナス6%」について、「取組の内容を知っている」とする者の割合が44.7% (『「チーム・マイナス6%」に参加しており、取組の内容も知っている」12.8%+『「チーム・マイナス6%」に参加していないが、取組の内容は知っている」31.9%)となっており、「聞いたことがない」とする者の割合は15.1%となっている。

問11 「チーム・マイナス6%」ではCO2削減のために、具体的な6つのアクションが提案されています。このことについてあなたはどの程度ご存じですか。次の中から1つだけ○をつけてお答えください。
(○は1つだけ)

- Act1: 温度調節で減らそう (冷房の設定温度は28℃、暖房時の室温は20℃にしよう)
- Act2: 水道の使い方減らそう (蛇口はこまめにしめよう)
- Act3: 自動車の使い方減らそう (エコドライブをしよう)
- Act4: 商品の選び方で減らそう (エコ製品を選んで買おう)
- Act5: 買い物とごみで減らそう (過剰包装を断ろう)
- Act6: 電気の使い方減らそう (コンセントからこまめに抜こう)

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 6つのアクションのことを知っていて、実行している項目がある |
| 2 | 6つのアクションのことは知らないが、実行している項目がある |
| 3 | 6つのアクションのことを知らないし、特に実行している項目もない |



6つのアクションについて、「6つのアクションのことは知らない」とする者の割合が68.9%（「6つのアクションのことは知らないが、実行している項目がある」66.1%+「6つのアクションのことを知らないし、特に実行している項目もない」2.8%）となっている。

また、「実行している項目がある」とする者の割合が97.2%（「6つのアクションのことを知っていて、実行している項目がある」31.1%+「6つのアクションのことは知らないが、実行している項目がある」66.1%）となっている。